

増穂小学校 校内研究の概要

1 研究主題

充実感をあじわえる授業の創造

－「できた!」「わかった!」を実感できる算数科の学習をとおして－

2 算数科で目指す児童像

- 用語の意味や定義を納得して理解し、適切に使うことができる子ども
- 仕組みや構造がわかり、論理的に考えることができる子ども
- 方法を工夫し、自らの力で問題解決ができる子ども
- 学習の成果を生かして、新たな課題に意欲的に取り組むことができる子ども
- 教科の特性にふれ、学習を楽しむことができる子ども

3 研究仮説

算数科の学習をとおして、全員で楽しく学び「できた!」「わかった!」を実感できる授業を創造していけば、充実感をあじわわせることができ、学力が向上するであろう。

4 研究の内容

(1) 子ども達が「できた!」「わかった!」を実感する授業の研究

- 学力向上に向け、教材の本質を捉えた「教えること」「考えさせること」を明確にした授業を目指す。

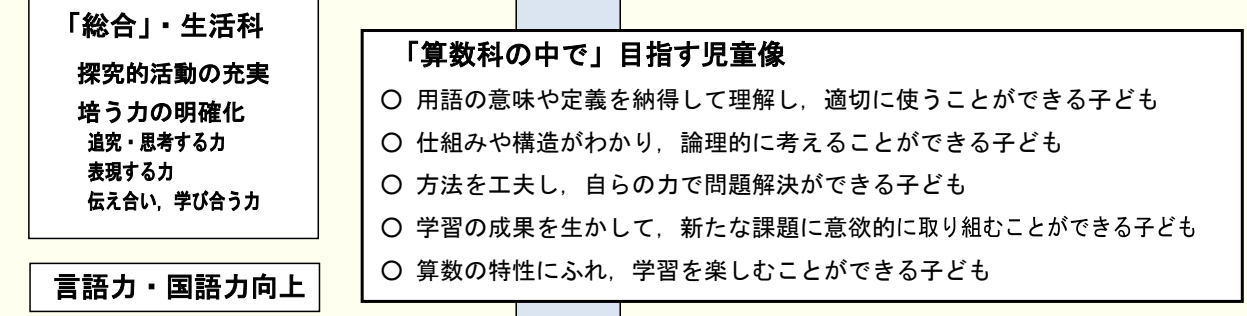
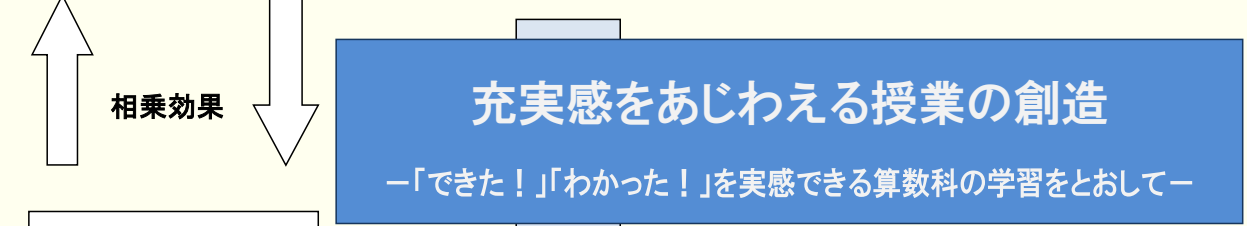
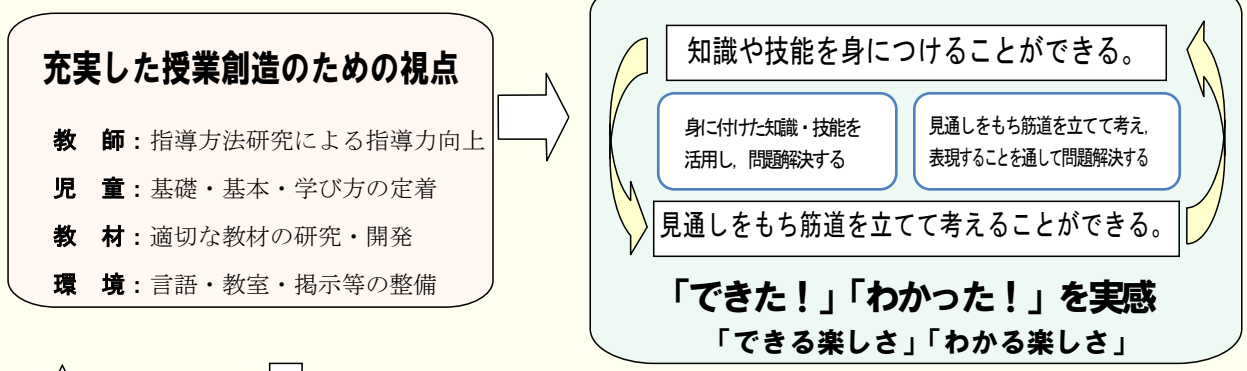
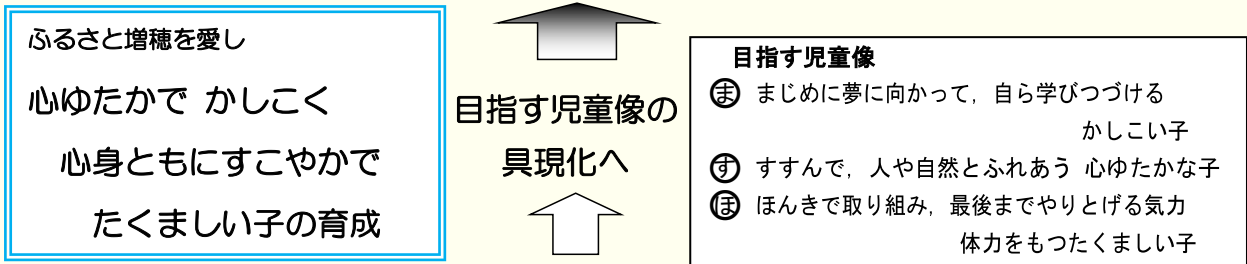
(2) 子ども達全員が楽しく学ぶ授業の研究

- 算数が得意な子どもも苦手な子どもも共に、「考えたくなる」「発言したくなる」教材や授業展開、指導法の研究を深め、子ども達の「学習意欲」「思考力・表現力」の向上を図る。
- 一斉指導と個別指導の在り方について研究を深め、「知識・理解」の一層の定着を図る。

5 研究の重点

- (1) 教材研究の充実
- (2) 学習指導案の作成・検討、授業研究会を通じた研究の充実
- (3) 授業を公開し合うことで授業力を高める「ミニ授業研究」の充実
- (4) 児童の学びを支える専門部研究（授業研究部会、家庭との連携部会、調査研究部会）の充実
- (5) 各種調査の活用

学校教育目標 具現化へ



学ぶことの楽しさを感じ、学習の充実感をあじわう

学力向上

「見える学力」	： 学んで身に付けた力	： 基礎的・基本的な知識及び技能
「見えにくい学力」	： 学ぶ力	： 思考力・表現力
「見えない学力」	： 学ぼうとする力	： 主体的に学習に取り組む態度